



令和5年度 学校経営方針

江戸川区立小松川第二中学校長 清水 秀登

目指す生徒像（学校の教育目標）

東京都及び江戸川区教育委員会の教育目標並びに地域社会や生徒の実態を踏まえ、人権尊重の精神を基盤とし、我が国と郷土への豊かな愛情をもち、伝統と文化を尊重し、公共の精神を尊重できる、心身共に健康で人間性豊かな生徒の育成を目指して、次の目標を掲げその具現に努める。

- ①「思いやりのある、心豊かな生徒」 ②「進んで学び、考えて行動する生徒」
- ③「規律を守り、責任を果たす生徒」 ④「心身を鍛え、たくましい生徒」

その中でも、今年度は「進んで学び、考えて行動する生徒」を重点に置く。

目指す学校像

- 生徒、保護者、地域、学校職員、卒業生が誇りに思う学校。
- 暴力、いじめ、体罰がなく、人権が守られ生徒が安心して通える学校。
- 生徒一人一人を大切にし、個性や得意な面を伸ばす学校。
- 苦手なことにも挑戦でき、その気持ちを讃える風土をもつ学校。

目指す教師像

- 生徒に愛情をもって接することができる教師。
- サービスの厳正に努め、組織の一員として職務を遂行する教師。
- 生徒を自立させるために尽力し、生徒の成長する姿に喜びを感じる教師。
- 生徒と共に活動し、生徒に範を示すことのできる教師。

(2)「目指す生徒像」を実現するために

①「思いやりのある、心豊かな生徒」について

考え議論する「特別の教科道徳」の時間を基盤として豊かな心や人権尊重の精神を養い、LGBTQなど多様性を理解する心や、いじめをなくし他者を思い共生する心を育て、自他共に認め合う集団を育成する。

学校関係者評価に鑑み、ボランティア、職場体験など地域の協力を最大限に活用し、家庭・地域との連携を充実させる。さらに学校・地域全体で個性を認め合うことへの理解を深め、差別や偏見をなくし多様な人権の尊重ができる生徒を育む。

②「進んで学び、考えて行動する生徒」について

心豊かな人間形成の充実を目指し、学校全体で朝読書等を取り入れ読書科の活動に取り組む。生徒の読書への意欲向上や、読解力や想像力などの能力を伸長させるとともに、教利横断的な学習に取り組むことで、問題解決に必要な思考力、判断力、表現力等の能力の向上を図る。

学力調査・定期考査の結果を分析するとともに、校内研修等を通して具体的な「誰一人取り残さない学力向上アクションプラン」を策定する。また、ALTの効果的な活用、一人1台端末とそれに伴うICT支援員を活用した授業展開、放課後補習教室の充実により確かな学力の向上及び定着を目指す。やむを得ず登校できない生徒、登校後に教室に入れない生徒へのオンライン授業を定着させる。

③「規律を守り、責任を果たす生徒」について

今年度、新たに策定した「生徒心得」に照らして、生徒一人一人が行動を律して、すべき行動を考え、物事の善悪の判断がしっかりとできる精神を育む。

学校内外の諸行事において、生徒が主体となり企画・運営を行うことを通して、決まりを守り粘り強く責任を果たす心、より良い人間関係づくり、ボランティアマインドを育む。

④「心身を鍛え、たくましい生徒」について

次世代につなげる部活動の推進、体育の授業での多種多様な補助運動により、計画的な体力の向上を図る。夢の追求や運動への意欲を高める生活指導を充実させ、生徒の基本的な生活習慣を育む。

保健指導を充実させ、互いに安心して生活ができて、行動が取れる生徒を育成する。自然災害への知識を学び、地域や関係諸機関と連携した安全指導及び避難訓練を行い、防災教育を充実させる。

(2)「目指す学校像」を実現するために

①「生徒、保護者、地域、学校職員、卒業生が誇りに思う学校」について

学校に関係のある人たちが互いに信頼で結ばれ、お互いが尊重し合い、よりよい学校づくりを共に推進していく。

理想を高くもち、基本的な事項を着実に達成させていく。

②「暴力、いじめ、体罰がなく、人権が守られ生徒が安心して通える学校」について

江戸川区子どもの権利条例を理解し、遵守する。

いじめ防止対策を着実に実施し、いじめの未然防止に努める。

登校できない生徒も安心して学習活動に参加できる環境を整える。

③「生徒一人一人を大切にし、個性や得意な面を伸ばす学校」について

生徒一人一人をあるがままの人間として尊重する。生徒の得意な面に着目し、それを伸ばす方法を生徒と共に考える。

④「苦手なことにも挑戦でき、その気持ちを讃える風土をもつ学校」について

スモールステップの課題を提供し、不得手なことにも挑戦させる。

失敗を恐れず、また失敗しても挑戦したことを讃える風土を醸成する。

(3)「目指す教師像」を実現するために

①「生徒に愛情をもって接することができる教師」について

生徒の努力を認め、ともに喜び、また、指導が必要な時は毅然とした態度で接する。

②「サービスの厳正に努め、組織の一員として職務を遂行する教師」について

年3回のサービス事故防止研修を実施し、サービス事故ゼロを実現する。

組織の一員としての自覚をもたせ、あらゆる課題を常に学校全体で取組む。

③「生徒を自立させるために尽力し、生徒の成長する姿に喜びを感じる教師」について

生徒に自分で考えさせ、自分で実行し、その結果に自分で責任をもつ生徒を育成し、生徒が成長させることを教師自身の使命とする。

④「生徒と共に活動し、生徒に範を示すことのできる教師」について

清掃活動や休み時間など可能な限り生徒と共に活動し、教師自身の行動で、人間としての行動の模範を示していく。